

保護者の皆様へ

～ 共に子どもたちを見守る ～

四街道市では、「命の教育」の推進として児童生徒の「思いやる心」「しなやかな心」「自尊感情」の育成に取り組んでいます。子どもたち一人一人が、命の尊さや命の重さについて理解し、自分の命も周囲の人の命も大切にすることができるよう、教育活動全体を通して指導しているところです。

長い夏季休業が終わり、いよいよ新たな学校生活が始まります。2学期は、学習や学校行事を通して様々な経験をすることで、子どもたちが大きく成長する時期です。その中で、お子様が時として、人間関係に悩んだり将来のことに不安を感じたりすることもあるかもしれません。

悩みや心配事でつらくなることは、どんな子どもにも起こりうることです。私たち大人は、そのことを今一度理解し、子どもの悩みや不安を受け止め、かけがえのない子どもたちを守っていかなくてはなりません。学校では、そのような状況を踏まえ、あらためて児童生徒一人一人に寄り添った対応をしてまいります。

保護者の皆様におかれましても、お子様と一緒に過ごしたり、話を聞いたりする時間をつくっていただくとともに、普段と変わった様子がないか見守っていただければ幸いです。お子様の様子が日頃と違ったり、何か気になったりするときは、いつでも学校にご相談ください。家庭と学校が連携し、いち早く支援していくことが、子どもの悩みの早期発見・早期解消につながります。また、裏面の「相談窓口」の利用も、問題解決へつながる手立てになりますので、いつでもご相談ください。

子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるよう、今後も、家庭や地域、学校の連携を強め、共に子どもたちを見守り、育てる体制づくりを進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

令和6年8月

四街道市教育委員会教育長 府川雅司